

説明会後の質疑等への回答

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|----------|---|--|
| ① 総論について | | |
| 1 | <p>この取組に関連しては、公共施設の廃止が話題に昇る事が多いのですが、昨今の少子高齢化・人口減少傾向から考えれば、老朽化した施設の全てが更新されないのは当たり前です。どの施設を廃止するかは様々なご意見があるものと思いますが、一般論を考えれば、この方針は財源が潤沢か不足かとは本来無関係に実施されるべきものと思います。</p> <p>公共施設の廃止は改革プランとは本来無関係と考えますと、本改革プランで得られた成果は、助成金の見直しなど、わずか数10億円に過ぎない様に見えます。財政が健全化した様に見えるのは、大幅に市税減収が起こるとの見積りだったものが、逆に増収になったからに過ぎない様に思えます。</p> <p>改革プランの実施によって得られた成果は、端的に言って何だったのでしょうか？</p> | <p>ご意見いただきましたとおり、本市においても今後一層の人口減少が見込まれており、このような状況の中ですべての施設や行政サービスを現状のまま維持し続けることは困難な状況です。</p> <p>このことから、これまで「既存の公共施設の見直し」や「扶助費を始めとした社会保障施策等の見直し」、「暮らし潤いさがみはら寄附金の返礼品の拡充」など、様々な改革の取組を実施してまいりました。</p> <p>改革プランの終了につきましては、市税収入が堅調に推移したことも大きな要因のひとつですが、それに、これから効果が現れる見直しの方向性を示した取組を含む様々な改革の効果が合わさり、プラン策定時の危機的な財政状況は回避し、財政健全化の目標の早期達成の見込みを立てることができたものと考えています。</p> |
| 2 | <p>説明を聴いていて、「標準」「平均」「並」といった他の指定都市と比較した数値を目標にしているように感じました。どの自治体であれ経済的・地理的に条件が違うのだから、財政構造は違って当たり前だと思います。相模原市にとっての適正な財政構造は、どうあるべきと考えているのでしょうか？</p> | <p>他の指定都市の数値は、同じく大都市特有の事情を抱える状況を踏まえ、あくまでも参考として比較しているものです。</p> <p>しかしながら、ご意見いただきましたとおり、相模原市特有の事情も多分にありますので、指定都市数値と比較しながらも、本市の個性を生かす分野である「子育て」や「教育」、「まちづくり」等の予算は重点的に確保するなど、戦略的な行政運営に心がけてまいりたいと考えています。</p> |
| 3 | <p>相模原市の財政状況を説明するときに他の政令指定都市と比較しているが、他にないのか？人口が同じくらいの熊本、岡山と比較されても立地や産業が違うのでぴんと来ない。</p> | <p>長期財政収支につきましては、大きな制度改正や社会経済情勢の変化等があった場合に、必要に応じて見直しています。</p> <p>直近では、令和5年10月に、行財政構造改革プラン第2期の作成にあたり、人件費や扶助費などの義務的経費の増加を見</p> |
| 4 | <p>行財政構造改革プラン策定時に816億の歳出超過が見込まれ、市は財政の悪化を理由にプランを推し進めてきました。</p> <p>今回の説明会ではそれが解消しつつあるのでプランを終了し、新たに「都市経営戦略」を策定するという事ですが、今後5年、10年後の財政状況をどう見込まれていますか？816億円歳出超過の</p> | <p>長期財政収支につきましては、大きな制度改正や社会経済情勢の変化等があった場合に、必要に応じて見直しています。</p> <p>直近では、令和5年10月に、行財政構造改革プラン第2期の作成にあたり、人件費や扶助費などの義務的経費の増加を見</p> |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|----|--|--|
| | <p>様に具体的数字をだしていますか？出していれば教えてください。出していなければ出していない理由を教えてください。</p> | <p>込むとともに、中学校給食の全員喫食関連経費や橋本駅周辺整備事業に要する経費などを計上するといった見直しを行い、令和9年度までの収支見通しを作成したところです。</p> <p>今後につきましては、本市の財政運営に大きな影響を及ぼす社会経済情勢等を適切に見込み、中長期的な視点に立って、安定的な行財政運営に努めてまいります。</p> |
| 5 | <p>そもそも今回のプランの前倒しと廃止は財政の見通しができなかったことにあるのではないか？</p> | <p>財政の見通しについてですが、改革プラン策定当時は、新型コロナウイルス感染症の影響下による市税収入の大幅な減収や、少子高齢化の影響などによる扶助費の増加が見込まれ、財政調整基金の残高も減少していたことなどから危機的な財政状況であり、このような状況の中で客観的に見込むことができる経費を用いて、財政推計を行いました。</p> <p>改革プランに基づく取組を進める中で、結果として、新型コロナウイルス感染症の影響下における業務継続計画への対応等により歳出の執行が抑制されたことや、市税収入が想定より堅調に推移したことなどの特殊要因がございました。</p> <p>いずれにしても、財政見通しについては、不確定要素を多く含むものでありますが、より精度の高いものとなるよう努めてまいります。</p> |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|-----------------------------|--|---|
| ② 既存の公共施設等の見直しなどについて | | |
| 6 | なぜ、お金があるのに色んな事を廃止されるのでしょうか？ | 改革プランの終了に当たっては、これまでの改革の取組を継続することを前提として、歳出超過の解消の「見通しが立った」と判断したところです。 |
| 7 | 歳出超過のために、市独自の扶助費を削られたために、市民はたくさんの我慢をして来ました。障がい者の方への支援の打ちきりや公民館の子ども祭り有料化や市営駐車場料の増額などもそうです。赤字がなくなるのなら、市民の負担増を減らす検討をお願いいたします。南市民ホールも数億円で改修できると聞きました。ぜひ再検討をして欲しいです。 | このことから、既に見直しの方針が決定した南市民ホール等の「既存の公共施設等の見直し」や「社会保障施策等の見直し」については、その決定に基づき、取り組んでまいります。 |
| 8 | <p>改革プラン終了と言いますが、すでに廃止が決まった施設やサービス、検討中のものも含め全てこのまま進んでいくということです。何を持って終了と言っているのですか？</p> <p>財政の健全化、さらに財政調整基金は標準額の2倍も溜め込んでいます。プラン廃止というなら、今まで廃止が検討されたものを今一度見直してください。特に市民の「なくさないで」の声がたくさんある施設(銀河アリーナや南市民ホール、図書館相武台分館など)は、まだ施設自体はあり、廃止されていません。今、立ち止まる時ではありませんか？</p> | また、既存の公共施設等の見直しに当たりましては、人口減少や少子高齢化が進む中、今ある全ての施設を維持することが困難であるという認識のもと、今後も公共施設マネジメント推進プラン等に基づき、集約化や複合化などによる施設の配置や、規模の適正化に向けた取組を進めてまいります |
| 9 | 「南市民ホールの存続を求める会」として、1万筆以上(南地区でも1万筆余の署名が提出されると仄聞)を提出してきた市民の熱望に応えるべく、南市民ホールの「廃止」について再検討し、存続させていくか否かについてご回答ください。 | なお、今後、策定を予定している南合同庁舎のあり方の基本構想につきましては、南区の地域性を生かした文化活動や交流を育む場のあり方をはじめ、これからの南区の拠点としてふさわしい行政機能や市民活動機能のあり方についての検討を市民の皆様の声をよく伺いながら進めてまいります。 |
| 10 | 財政健全化は当然、追求すべきことであり重要な課題と思います。しかし、内容の説明を聞くと、誰のため、何のためかが疑問に思っていました。重度障害者の方々への手当や給付費を削減したり、多くの方が存続を願っている南市民ホールや図書館の廃止など、また高齢者への様々な政策の中止。弱い人々や声を上げづらい人々の切り捨てで財政が健全化しても、胸を張って誇れるでしょうか。冷たい相模原市を市民は望んでいません。再考する必要があるのではないのでしょうか。 | |
| 11 | 説明会で、出席者の多くから要望された事項(「重度障害者への手当」、「図書館相武台分館」等々)への継続・維持についてご回答ください。 | |
| 12 | 図書館相武台分館廃止後の跡地がどのように使われるのか、どんな有効利用されるのか？教えてください。決まっていないで廃止には納得できません。 | 図書館相武台分館につきましては、土地、建物ともに、寄附を受けて設置した経過があることから、これらの経過も踏まえた取扱いを検討してまいります。 |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|----|--|--|
| 13 | <p>説明会の開催の機会をもって下さった事に感謝しております。市財政の歳出超過が通減された事は職員の皆様の並々ならぬご努力があったものと思います。合わせて感謝致します。</p> <p>相武台分館の廃止について意見、要望を書かせて頂きます。相武台分館については、南区内に相模大野図書館がある事、また、相武台地域の子供達を中心に少子化が進み、高齢化が進み、建物も当然老朽化もあるでしょうし、相武台公民館が移転し、そちらとの兼ね合い等現状のまま維持出来るとは個人的にも思っていません。ただ、相武台分館の在り方は変わるとしてもなんらかの形で残して頂ければと思っています。また、統廃合が決定しているもえぎ台小学校跡地についても、今後の在り方が定まっていないものと認識しております。このもえぎ台小跡地の利用の在り方を含めて、相武台分館、相武台公民館の機能としての在り方をこれらの施設等をとりまく事情を踏まえた上で包括的に丁寧に検討していけたらいいなと思っています。</p> <p>また、そこまで大きなレベルではなくとも相武台分館の今後の在り方について、もう少しフラットな形で希望者が誰でも参加できるような検討もしくは意見交換会のような場があるといいと思っています。ご検討の程宜しくお願い致します。</p> | <p>これまで相武台分館が果たしてきた役割や歴史を大切にしつつ、社会のニーズや時代の変化に合わせた図書機能のあり方について、まちづくり会議における専門部会をはじめ、地域の皆様のご意見を伺いながら、検討を進めてまいります。</p> |
| 14 | <p>障害者全般にですが、特に重度障害者のご家族の皆さんは健常者の家庭と比べ日々大変な思いで生活していると思います。特に子どもが重度障害者の場合、自分が先に逝ってしまった後の事がいつも頭から離れないでいると思います。市行政から忘れられていない、温かな優しさが必要だと思います。他の自治体は廃止したのかもしれませんが、相模原市は弱者に温かく優しさを忘れず、改革プラン3年前倒し出来たと誇る相模原市であって欲しいと願っています。手当の復活と何か優しさを伝える施策をお願いします。</p> | <p>本市の人口が減少していく中でも障害者数は増加していくことが想定され、このまま個別給付施策を継続すると、新規の事業はおろか、既存の事業を継続することも困難な状態になることが見込まれます。</p> <p>このため、障害者施策の持続可能性を確保する必要があることから、個別給付から福祉基盤の整備へと施策の転換を図ることとしました。</p> <p>今後、幅広く福祉基盤の整備に取り組む中でも重度障害者に係る取組としましては、地域において安心して生活を送れるよう、本年11月より人工呼吸器を利用する医療的ケア児者の非常用電源の購入補助を開始するとともに、地域生活支援拠点等の連携強化をはじめ、市立上九沢身体障害者デイサービスセンターの施設改修、重症心身障害児者への移動支援の拡</p> |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|----|-------|--|
| | | <p>充などを検討しています。</p> <p>これまで、障害者団体などからご要望をいただいていた施策等の実現に、できる限り努めるほか、今後も当事者や関係機関等のご意見を伺いながら重度の障害がある方も安心して地域で生活を送ることができるよう基盤の整備を進めてまいります。</p> |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|-----------------|--|---|
| ③ 基金について | | |
| 15 | <p>財政調整基金の維持水準を大幅に超えた積み立てはなぜですか？</p> <p>財政調整基金の維持水準(8%)である148億を大幅に超えて、289億積み立てているという説明がありました。維持水準を大きく超えて財政調整基金を貯めることは、憲法86条にある予算単年度主義に基づいても問題があると思います。</p> <p>ちなみに、チャットGPTに聞いてみたところ、「財政調整基金は適正な範囲内で維持されることが望ましく、過度に蓄積することは住民サービスの質や自治体運営の効率性に悪影響を及ぼす可能性があります。基金は、あくまで緊急時や将来の不測の事態に備えるためのものなので、適切な水準を超えて蓄える場合は、その理由や用途について慎重に検討する必要があります。」と答えが返ってきました。市は、維持水準の2倍近い基金の積み立てがされている状態をどのように考えていますか？必要な積み立てであるならば、その説明をお願いいたします。</p> | <p>改革プランにおける各種取組を進める中で、令和3年度から5年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響下における業務継続計画への対応等により歳出予算の執行が抑制されたことや、市税収入が想定よりも増収となったことなどの特殊な要因もあり、基金残高が増加したものと捉えています。</p> <p>財政調整基金の残高は、令和5年度末に約289億円となったことにより、本市の標準財政規模の約8パーセント、金額にして約148億円程度の残高を維持した上で、差額の約141億円が活用可能となりました。</p> <p>改革プランの終了に当たりましては、この財源の活用も前提に、歳出超過の見通しが立ったと判断したものです。</p> |
| 16 | <p>財政調整基金の表を見ると、本市の標準財政規模(148億円)はしっかり基金として成り立っているからこそ、「活用可能額」141億円なのでは？ 市民への市民サービス、命綱など削ってまで貯め込む必要はないのでは？</p> | <p>なお、特定目的基金については、令和3年度以降、リニア関連事業を含む市街地の整備を目的とした市街地整備基金以外にも、公共施設の保全等を目的とした公共施設保全等基金や学校施設の整備を目的とした学校施設整備基金などに計画的に積み立てを行ったことにより増加しました。これらの取組は、一時的に多額の経費が必要となることから、その平準化のため、積み立てを行いました。</p> |
| 17 | <p>先日の説明会で財政調整基金が昨年度より81億円積立て、289億円になったという説明がありました。これは市の示している維持水準(標準財政規模の8%程度)の額148億円のほとんど倍に近い額です。財政調整基金の過剰な積み立ては単年度主義の原則からいって問題だと思いますが、市はどのように考えていますか？</p> <p>もし仮に「不測の事態に備えるため」だとしても、維持水準よりも倍額も積み立てているのに緊縮財政を続けるのは、将来の不安のためにいまの市民サービスが犠牲になりすぎていると思いますが、その点についてはどう思いますか？</p> | <p>特定目的基金の各基金については、目標額はございませんが、物価高騰等の社会経済情勢も的確に見極めながら、各事業の将来負担額の平準化を図ることができるよう、今後も適時適切に対応してまいります。</p> |
| 18 | <p>財政調整基金をこれ以上貯めるのか、いくらまで貯めるつもりか。</p> | |
| 19 | <p>行財政構造改革プラン中に令和4年、5年と財政調整基金と特定目的基金が非常に多く積立てられました。今後、これらの基金は更に積立てられるのですか？財政調整基金は維持水準の2倍近くありますが、これは健全な財政運営と言えますか？</p> | |
| 20 | <p>特定目的基金の表を見ると3年間で3倍もふえている。新磯野開発やリニアのためと言われて</p> | |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|----|--|---|
| | いたが、いつまでにいくら貯める予定なのか。 | |
| 21 | <p>特定目的基金が令和2年から5年の3年間で3倍にも膨れ上がっています。</p> <p>お金がないからと行革プランが進められていくなかで、なぜ特定目的基金はこんなにも積み立てられているのですか？この使い道はほとんどがリニアとのことです。</p> <p>以前の南市民ホール廃止に関する説明会の時、市は「リニアの問題と一緒にするな」と言っていたが、結局、市民の反対の声を押し切って公共施設やサービスを切り捨て、リニア事業につき込むということではないですか？</p> | |
| 22 | 財政の141万(億)は何ですか？ | |
| 23 | <p>財政調整基金を他の自治体のように市民サービスに使えないのはなぜですか？</p> <p>財政調整基金の使い方について、「条例に定められている」と返答がありましたので調べてみました。地方財政法第4条の3及び第7条の規定に基づいて財政調整基金が設置されているとありましたが、文面からは市民サービスに使えないとは書いてありませんでした。そもそも税金は、都市計画も含め市民のために使われるものではないでしょうか。実際、主要都市では、財政調整基金を市民サービスに使っています。</p> <p>説明会でも出された「重度障害者への手当」「南市民ホール」「銀河アリーナ」「図書館相武台分館」など、改革プランで廃止される市民サービスを、維持するために活用することが望ましいと思いますが、他の自治体のようになぜ使えないのですか？</p> | <p>財政調整基金は、用途の要件が相模原市財政調整基金条例に規定されており、大規模な建設事業、災害対応に関する経費、地方債の繰上償還、財政需要の著しい変動等への財源に活用していくものとしております。</p> <p>また、改革プランの終了に当たっては、これまでの改革の取組を継続することを前提に終了することとしておりますことから、引き続き取組を進めるとともに、財政調整基金につきましても適切に活用してまいります。</p> |
| 24 | <p>「約289億円」で「対前年度比約81億円増」(説明会時の配布資料による。以下同)となっています。しかし、「本市の標準財政規模の8%」は「約148億円」であるとされ、その差は大幅です。説明会では、「重点的に使用」とのことでしたが、「重点的」とされる事項の具体的な説明がありませんでした。</p> <p>何を想定しての「重点的」であるかをご回答ください。</p> | |
| 25 | 「増額の主な要因」の「公共施設保全等基金(+39)」とある「公共施設」とは何か。 | 本市が維持管理を行う公共施設(公用又は公共の用に供する施設)となります。 |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|--------------------|--|--|
| ④ 市民の意見について | | |
| 26 | <p>市民の提案は、どうしたら反映されるのですか？</p> <p>「改革プラン終了としていますが、引き続き実行され、来年度4月から新しい事業『さがみはら都市経営戦略』をすすめていただけないか」という質問がされました。今回の市の説明では、そう受け止められても仕方がない内容でした。新事業を「市民とともに都市を運営する」という視点でまちづくりを進める、「合同庁舎長寿命化計画もどのような機能が必要か住民のみなさまの意見を聞いて」と説明がありました。しかしこの間、パブリックコメントや市民説明会などあらゆる場で「南市民ホールを残してほしい」と伝えてきています。南市民ホール存続を求める署名も1万筆以上集まり、オンライン署名も500を超える賛同がありました。代替施設についても、南市民ホールの代替施設として具体的に必要な機能についても示し、現実的に考えれば、南市民ホールに代わるものはないと伝えていきます。私たち市民はただ反対しているのではなく、提案をしているのです。「南市民ホールを残してほしい」は市民の提案なのですが、どこでどうやったら反映されるのですか。</p> | <p>改革プランにつきましては、南市民ホールを含む既存の公共施設等の見直しを始め、持続可能な行財政運営を継続するための取組を実施することを前提として計画期間を前倒して終了することとしておりますので、これまでの取組は引き続き維持してまいります。</p> <p>なお、今後、策定を予定している南合同庁舎のあり方の基本構想につきましては、南区の地域性を生かした文化活動や交流を育む場のあり方をはじめ、これからの南区の拠点としてふさわしい行政機能や市民活動機能のあり方についての検討を市民の皆様の声をよく伺いながら進めてまいります。</p> |
| 27 | <p>プラン終了の意味がわからない。結局すべてなくされ、新しい「都市経営戦略」を早く始めたいために開かれた説明会のように感じた。今まで、行政改革プラン反対や南市民ホール存続を求める声など議論してきた市民の願いがさまざまな形で表明されているはず。その願いをどのように取り入れてもらえるのか。</p> | |
| 28 | <p>説明会で出された「プランを出す前に白紙の状態に市民の願いを聞いてそれをプランにしてほしい」という意見は、今後どのように採用されるのか</p> | |
| 29 | <p>南区の長寿命化計画について、検討委員会、ワークショップ、オープンハウスなど、市民の意見を聞く手法を考え直してください。また、市民の意見を反映していくことをお考えください。</p> | <p>南区合同庁舎長寿命化改修に係る基本構想策定に向け、これまで市民アンケートの実施や地域団体等への説明や対話を通じて、様々なご意見を伺っています。</p> <p>今後も、対話の機会を継続するとともに、オープンハウスを複数回実施するなど、更なる意見聴取に努めてまいります。</p> <p>なお、基本構想策定後も、基本計画策定に向けた具体的な機能の検討にあたっては、更なる意見聴取に努め、市民意見を反映してまいります。</p> |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|----|---|--|
| 30 | もう一度(何度でも)、説明会をしてください。 | |
| 31 | <p>今日の市民の意見、うなずき、拍手などを市長が直接見聞きしにいらっしゃらないのは何故ですか？</p> <p>おまつり等では聞けない、本気で市の事を考える市民の声が聴ける場に出席せず、「市民の声を聞く」「対話している」とは言えないのではないのでしょうか。</p> <p>市と対立するようなプランを提示され、急に廃止。市民が混乱するのは当たり前です。市長自らが前に立ち、説明するべきではないですか？</p> | <p>市民の皆様からいただいた声を市政に反映させていくことは、大変重要であると認識しており、今後も事業の実施に当たっては、説明会のほか、ワークショップやオープンハウス型説明会など、様々な機会を捉えて対話を行ってまいりたいと考えています。</p> |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|-----------|--|---|
| ⑤ その他について | | |
| 32 | <p>今後の「まちづくり」構想においても、市民による文化・芸術をいかに位置付けるかは重要です。「行財政構造改革プラン」では、「財政の健全化」と同様に、文化・芸術を豊穡にすることも、市民の生活では不可欠です。市民による豊穡な文化・芸術の醸成という観点から、その空間についてご回答ください。</p> | <p>文化芸術は、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、人々の創造を育み、豊かな人間性かん養するとともに、人と人との心のつながりや活力ある社会を形成する源泉であると認識しています。日々の暮らしの中に様々な文化芸術が溶け込んだ文化の薫り高いまちとなるよう、身近な地域で文化芸術活動を実践、体験する機会の充実のほか、多彩な文化芸術を鑑賞する機会の創出、次代の文化芸術を担う人材の育成等に努めてまいります。</p> |
| 33 | <p>説明会では、「銀河アリーナのプールは温水供給にガス冷凍機の排熱を利用しており、冷凍機がフロンガス規制により使用出来ない事から、プールは利用できない」旨のご回答を頂きました。</p> <p>銀河アリーナプールの温水供給の主熱源はボイラーであり、冷凍機の排熱は省エネ目的の補助熱源です。(資料があります)</p> <p>ゆえにプールは利用可能であると認識しております。(2018年のプール休止前後に施設管理者の方にもそのように伺いました。</p> | <p>銀河アリーナのプールにつきましては、市内プール施設の充実による利用者数の減少等により、平成30年度の運営をもって休止としました。</p> <p>ご指摘のとおり、冷凍機2台の排熱エネルギーのほか、ボイラー3台によりプールの昇温を行っておりましたが、ボイラー及び長期間稼働していない濾過機等のプール設備の老朽化が著しく、アイススケートと水泳プールを年間通して安定的に稼働させることが難しい状況であることから、過渡的な活用は考えておりません。</p> |
| 34 | <p>「児童」に高校生も含めること、南市民ホール跡地利用に市民の意見の求めることについて、どう意見を反映していくかを注視していきたいと思ひます。受け流さないようにしてもらいたくと思ひます。</p> <p>発展、成長に対してのイメージについて、何をやっていくことが発展、成長なのか？(特に文化面と人口増、子育て世代増について)</p> | <p>将来にわたり本市が成長・発展を続けるためには、安定した行財政基盤を維持するための「不断の行財政改革」に加え、地方創生の視点に立った「少子化対策」・「雇用促進対策」・「中山間地域対策」や、本市の個性を生かした「子育て」・「教育」の充実や「まちづくり」の推進などに取り組む必要があると考えています。</p> <p>また、企業誘致や戦略的なシティプロモーションなど本市が多くの人や企業に選ばれることにつながる取組など、税源かん</p> |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|----|---|--|
| | | <p>養に資する効果的な施策を推進していくことも必要と考えています。</p> |
| 35 | <p>本日はこうした説明会の開催をして下さりありがとうございました。</p> <p>色々な意見が飛び交っておりましたが、私個人としてはこの行財政構造改革プランには賛成ですし、公共施設に対しての基本的な考えにも賛成です。</p> <p>日本においては2060年には高齢化率が40%にもなる中で、今施設の更新をすることで将来に負担を寄せる事になってしまいます。今の子どもたちにツケをまわさないように引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>質問ではなく、今回の財政基盤が出来た事による今後ご検討いただきたい要望です。</p> <p>介護保険の級地についてですが、相模原市は4級地、お隣の町田市は2級地です。そこに厚木市が今回の介護保険制度の改定に伴い4級地⇒3級地になりました。級地が上がる事は利用者の負担及び自治体の財政負担が増える一方で、事業者からすると正当性を持って売上(単価)があがります。それは人件費還元できますので、介護保険サービスにおける人手不足に一定の歯止めをかけられる施策だと考えます。現状では2級地になる町田市に人材が流れてしまう環境であり、今後座間市・海老名市の介護従事者は相模原市ではなく厚木市に流れてしまいやすくなります。</p> <p>相模原市においては3級地ないしは2級地を目指して取り組むことで、民間の介護サービスの活性化を促して欲しいと願います。</p> | <p>介護報酬の地域区分は、介護人材の確保及び介護報酬の観点からも、介護事業者にとって重要な役割を果たしているものと認識しています。</p> <p>このため、本市では、隣接する地域において大きな格差が生じることのないよう、繰り返し国に要望しており、直近では、本年7月に神奈川県市長会を通じて要望を行ったところです。</p> <p>介護人材の確保・定着・育成、処遇改善及び介護事業者の安定的な運営など介護サービス基盤の充実につきましては、引き続き様々な取組を進めてまいりたいと考えています。</p> |
| 36 | <p>南足柄市は今年度から給食費を無償化しました。市長は「南足柄市は緑豊かな自然がある。ここに移住してもらって子育てをしてもらうために子育て応援のために一般財源で無償化する」と言っています。相模原市は「将来的に子どもは減少する。正規教員を採用すると子どもが減っても雇用を続けなければならない。市にはそんなお金はない」といいます。「子どもが減るから」ではなく、子どもを増やすためにぜひ給食費無償化に141億円の予算の一部を使ってください。</p> | <p>小中学校等における学校給食費につきましては、現在の給食費で、中学校給食の全員喫食を想定し、学校給食費を無償化した場合、毎年度、約26億円の一般財源が必要となり、昨今の物価高騰の状況を踏まえると、更に増額することが見込まれ、本市の財政に与える影響が大きいものと認識しています。</p> <p>引き続き、他の指定都市とも連携し、国に対し、制度の創設及び財政措置について、粘り強く要望してまいります。</p> |
| 37 | <p>相模原市の不登校率は、横浜、川崎、県内と比べても非常に高いです。市の独自予算で正規教員を増やしたり、学校内に毎日行けるサポート教室を設置したり、スクールカウンセラーを常駐させたり、</p> | <p>子どもたちの未来を切り拓く力を育むとともに、誰一人取り残さない学校教育を実現することは重要であると考えており、</p> |

| 通番 | 意見の趣旨 | 市からの回答 |
|----|---|---|
| | 保護者や子どもたちが安心して学校に行けることに予算を使ってほしいです。 | 教育費を含む「本市が特に重点的に力を入れる取組」や「本市の個性を生かした分野」の施策の財源については、しっかりと確保してまいります。 |
| 38 | 第二期の 34 頁:609 件の職員提案をすべて公開できないのか? 「市民とともに都市を経営する」つもりならなおさら市民に知らせてほしい。公開されていないものの中に市民に考えるヒントを与えるものがあるのではないか? | 行財政構造改革プランに基づく職員提案につきましては、今回いただいたご意見も参考にしながら、公表の手法について検討してまいります。 |
| 39 | 職員休職状況について | 10月末時点での休職者数は62名です。 ※市長部局・教育局(教員含まず)・消防局の合計 |
| 40 | 職員の人材育成の内容に、財政は入らないのか? | 人材育成については、財政効果がすぐに表れるものではございませんが、様々な課題を主体的に受け止め、民間の経営感覚やコスト意識、改革意識をもって、事業を推進する職員を育成することは、持続可能な行財政運営を進めていくうえで重要な取組と捉えています。 |